

平成27年10月12日

No. 106

「今やる」

日本創造教育研究所(コスモ教育出版)発行の月刊誌「理念=経営」10月号の記事で株式会社ジャパネットたかた創業者高田明弘が「私はある講演で『経営方針のない経営』というテーマも挙げたけど、計画性のない人間です。ただ、今66歳になって思うことはやるべきことの優先順位は『今』で、過去でも未来でもない。たった今やらなければいけないことに、100パーセントの力を注いでいく。これによって次の課題が必ず見えてくる。そういう生き方をしてきました。明日の株価だってわからないのに、景気の先行きを心配してもしようがない。売れる商品も同じで、何が売れるか予測するよりも自分たちでつくればいいのです。」と言っています。東進ハイスクールの林修先生も「じゃ、いつやるか?」「今でしょ!」。日本電産社長永守重信の「すぐやる。必ずやる。できるまでやる」。サントリー創業者鳥井信次郎の「やってみなはれ。やらねえからしよへんで」。私の手帳に「計画に5% 実行に95%」と書かれています。成果を上げるには、「今」やるべきことに専心し、全力で取り組む、何倍も何倍も努力して取り組んでいく。計画はやるべきことを見つけるところで、やるべきことが見つければとんとん実行していく。うまくいかなければ他の方法を見つけ、新たに実行していく。失敗から成功。準備を整ってからやりましょうと、言っていますが、成果を出す人は「今やる」土光敏夫の「今日のことは今日やっておけ、明日は明日でやることがある。明日にしようとする弱い自分にムチを打て」。

久いぶりに日創研沢松経営研究会セミナーに参加。道頓堀ホテル橋本専務、「誰れもやっていない、お各様の『あったらいいね』を実現する『選抜』を集中」、「無料サービス」、「めんどくさいこと」、「売るとの=思いづくり」やること徹底してました。

高林 幸裕